

ニーズや個性に合わせて、組みかえ・拡張が変幻自在。

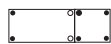
ポストを共有するとユニットの拡張性が高まります。そのうえ、ホームエレクター専用コネクタを使用すればワイヤーシェルフどうしはもちろん、ウッドシェルフどうし、ワイヤーシェルフとウッドシェルフの連結ができ、オリジナルのユニットが組めます。

※●は棚板にポストを通し、○は棚板のみの使用を表します。
 ※コネクタの種類を確認のうえ棚板の接する面に必ず2個ずつご使用ください。※組み立ての際は、必ず棚の最下段から組み立ててください。なお解体する場合は最上段から順に取り外してください。
 *ホームエレクターとスーパーエレクターの互換性はありません、お買い求めの際はご注意ください。

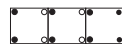
ホームエレクター専用コネクタを使った場合



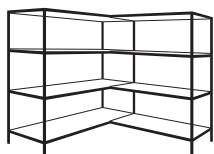
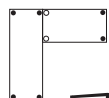
●直線（並列）組み合わせ
 独立するユニットの片側または両側に、新たなユニットを並列に接続します。大小サイズの異なる収納物をバランスよく収納できます。



●高低差形組み合わせ
 低めのユニットに、450mm四方のシェルフによる背の高いユニットを接続。このユニットは、部屋のコーナーなどに付ければ省スペースに。



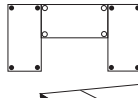
●雑壇形組み合わせ
 450mm四方のシェルフならではの組み合わせ。収納面の高低変化のおもしろさが表現できます。収納スペースの割に圧迫感がありません。



●“L”字組み合わせ
 独立するユニットの前面に、新たなユニットの側面をL字形に接続します。お部屋のコーナーを利用して、大きな収納面を確保します。



●“T”字組み合わせ
 独立するユニットの前面中央に、新たなユニットの側面をT字形に接続します。接続部分のユニットは、両サイドから物の出入れが可能。



●“コ”の字組み合わせ
 2台の基本ユニット間を橋渡し(引掛け)します。限られた面積を効率的に活用することで、大きな収納スペースが得られる方法です。

[コネクタの種類] アドオンシェルフコネクタ:ワイヤーシェルフ×ワイヤーシェルフの連結
 ウッド&ウッドシェルフコネクタ:ウッドシェルフ×ウッドシェルフの連結
 ウッド&ワイヤーシェルフコネクタ:ワイヤーシェルフ×ウッドシェルフの連結

ポストを共有した場合 (ポストを共有して組み合わせる場合は、下から順に取り付けてください。)



●橋渡し組み合わせ
 2台の基本ユニットの内側の柱を共用し、棚板(必要枚数)を取り付けます。ウッドシェルフ1枚を使えば、そこがデスク面になります。



●段違い組み合わせ
 独立するユニットの片側ポスト2本を使用して、高さが違う新たなユニットを接続。収納時の視覚的変化が楽しい並列型です。



●段違い組み合わせ (デスクタイプ)
 基本ユニットの片側に、デスク形状の新たなユニットを接続。基本ユニットのシェルフとは段違いのため、ポスト兼用も問題ナシです。

ERECTA

HOME ERECTA

ホームエレクター

組立説明書



この度は、ホームエレクターをお買い上げいただきありがとうございます。
 本製品を長く、安全にお使いいただくために、組み立て時そしてご使用に際しては、必ずこの組立説明書をお読みください。

自分流で個性が生きる。
オリジナルの空間づくり。

Home HOME
ERECTA ホームエレクター

ご使用前に必ずお読みください。

- 組み立て前に商品の不足・欠損がないか、必ずご確認ください。
- ※商品には万全を期しておりますが、万一商品が不足・欠損していた場合は、組み立てを行わず弊社カスタマーサービスへお問い合わせください。
- 組み立てはこの「説明書」に記載の順序に従い、正しく組み立ててください。誤った組み立ては、破損やケガの原因になります。
- 下記の「警告」「注意」をよくお読みいただき、理解し、遵守していただくようお願いいたします。

警告 耐荷重を超えて物を載せないでください。

●耐荷重は、棚1段あたり135kgです。破損やケガを招く恐れがありますので厳守してください。

棚にぶらさがったり、上に登ったりして遊ばないようご注意ください。

●ケガをしたり、破損につながります。

踏み台にするなど、棚の上には絶対に乗らないでください。

●転倒によるケガや破損など、大きな事故につながる恐れがあります。



●テーパードスリーブがずれたり、棚が水平になっていないなど、組み立てが不十分な場合はそのまま使用せず、もう一度組み立て直してください。

●傾斜した場所や、下が柔らかい場所など、不安定な場所には設置しないでください。物が落下して破損したり、転倒してケガをする恐れがあります。

●柔らかく、傷みやすい床面の場合キズつけてしまう恐れがありますので、引きずったりしないでください。

●棚板のメッシュよりも小さいものは、落下して破損する原因となりますので、載せないようにしてください。

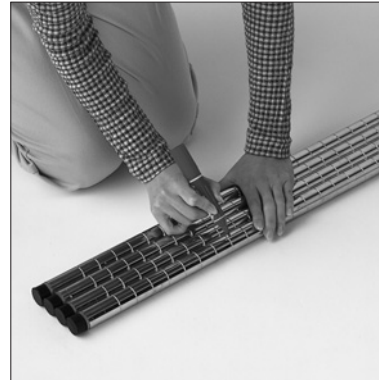
●キャスターで移動の際は、倒れやすい物や滑りやすい物を取り除いてください。また、急激な移動は、物がずれたり落下してケガの原因になります。

●棚位置の高さを変更する際は、上に載っている物をすべて下ろしてから行ってください。物品の破損やケガの原因となります。

●商品の改造は機能低下の原因となりますので、絶対におやめください。

■組み立ての手順

1 棚の取り付け位置を決定



棚に載せる物の大きさに応じて25.4mm(1インチ)ピッチの目盛、あるいは約20cm毎に印されたダブルラインを目安にして、棚の取り付け位置を決めます。この時、マーカーなどでポストに印をつけると便利です。ポストは先端にボルトのある方が下になります。

注意 ポストや棚を置くときは、壁に立てかけず、床面に横にして置いてください。転倒し床面や家具等を傷つけたり、ケガをする危険があります。

5 2段目以上の棚を組み立て



2と同様に、ポストにテーパードスリーブをセットし、棚を上から通して取り付け位置まで差し込みます。すべての棚を同じ要領で取り付けてください。

2 テーパードスリーブをセット



最下段の棚の取り付け位置に、テーパードスリーブの内側の凸とポストの溝が合うように、1枚ずつカチッとセットします。テーパードスリーブは裾の広がっている方を下向きにしてください。

注意 ポストとテーパードスリーブのかみ合いが悪いと、完全に固定できません。棚がずれたり、物が落下して破損やケガの原因になります。

6 完成



棚を取り付け終わったら、すべての棚のコーナー・リングに近い部分を、プラスチックハンマーか木槌でたたくようにしっかり固定してください。

注意 木槌またはソフトハンマーを使用する際、床を傷つける恐れがありますので、ポストと床の間に布などをあて、床面を保護してください。

3 組み立ては最下段の棚から



棚を横にして、四隅のコーナー・リングを、テーパードスリーブがほとんど隠れるところまでそれぞれ差し込みます。

注意 ポストを差し込む際は、指などを挟まないようご注意ください。

調整のしかた



床が水平でないときは、ポスト下部先端のアジャストボルトを回して、ガタツキがないよう調整してください。

注意 ガタツキや不安定なままのご使用は、転倒や物品落下の危険を招きます。棚が水平になるよう確実に調整を行ってからご使用ください。

4 セットした棚を起こす



セットした棚を起こします。この時、テーパードスリーブがずれずに棚と正しくかみ合っているかどうか確認してください。

注意 安定性のある場所で組み立てを行ってください。起こした棚が転倒し、ケガや破損を招く危険があります。

■キャスター(別売)を取り付ける場合



ポスト下部のアジャストボルトを取り除き、ネジ部にスプリングワッシャー、平ワッシャーの順に入れポスト下部へ差し込みます。付属のスパナで動かなくなるまで締め込みます。

